



拳ノ川小学校 子どもたちに確かな学力 と生きる力を

校長 松本 治彦

はじめに

昨年度、町教委より「学校運営協議会」の指定を受け、学校運営をより地域に開き、地域や保護者の皆さんと共に、学校教育目標である「『確かな学力』と『生きる力』を身につけ、生き生きと躍動する拳の子どもの育成」を目指し取り組みを進めています。

「確かな学力」づくりへの取り組みについて

基礎基本の確実な定着を指し、基礎学力タイム（読書・計算・漢字）各10分間を校時表に位置づけて「継続は力なり」を合い言葉に取り組みを進めています。

◆読書タイム

読書は、全ての学力の基礎です。本校では「毎日、集中



して自分の好きな本を読む」をねらいに毎朝10分間の朝読書に取り組んでいます。また、全校で選書会を開いたり、読み聞かせボランティアによる読み聞かせも行っています。さらに今年度からは、家庭での20分間読書をPTAの取り組みとして始めました。

◆計算タイム

基礎計算（四則計算）の習熟をねらいに、百マス計算や各学年の課題プリントなど利用し、意欲化への評価や声かけの工夫をしながら継続的な取り組みを行っています。

◆漢字タイム

1日2、3字の進度で各学年の新出漢字の学習をし、2学期後半から3学期にかけて、反復練習による習熟を図り、年度末に全新出漢字の定着率を検証しています。

◆こぶしの時間の活用

学校裁量の時間「こぶし」を学力向上の時間に設定し今年度から取り組みを進めています。

◆「音読」の重視

音読は、学級すべての子どもが通過しなければならぬ最低の学力です。また、内容の読み取りの前提であり、読解・鑑賞の土台でもあります。そこで、授業中はもちろんのこと、家庭学習としても全学年「本読みカード」を持たせ家庭での音読にも取り組んでいます。

◆語彙力を伸ばす

豊かな語彙の獲得に向け、国語辞典を全学年に、漢字辞典を3年以上に持たせて常時活用し心がけた取り組みも行っていきます。

◆加力指導について

放課後の加力指導の時間確保や夏休みに全学年で加力補習にも取り組んでいます。

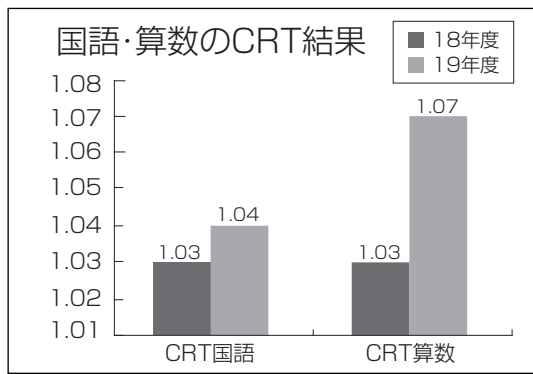
◆家庭学習の充実

低学年30分、中学年45分、高学年60分を目安に時間の確保、課題の工夫、意欲化への評価などを心がけて取り組みを行っています。

◆校内研究の取り組み

校内研究においては、学校の命は「授業」であるという観点のもと、校長以下全員が授業公開をおこない、さらに積極的に外部講師を招いて授業研究を行い「聞くことを大切にしながら表現し合う授業づくり」を目指し、一時間一時間の授業を大事にしながらかかる楽しい授業の創造への取り組みを進めています。

◆学力検査の活用



昨年度末に実施したCRTの結果は、右表のように国語・算数ともに全国の平均を上回り前年度より良い結果が得られたものの、学年によってそれぞれ課題があり、基本的生

活習慣の確立なども含め、日々の取り組みの充実を図りながら改善に努めています。

◆「生きる力」を支える取り組み

◆発表朝会・学習発表会

発表朝会では、表現力、発表力の育成のため「凛とした声のひびき」をねらいに物語文、説明文、詩などの暗唱や朗読、学習発表などを中心に各学年持ち回りで実施しています。また、2学期には、学習発表会も行い子どもたちの頑張る姿を地域の方にも見ていただき好評を得ています。

◆綴り方集会

年間に全員が発表できるように計画し、発表後には、全員で感想を出し合い、作者の生活や表現の値打ちを学びあっています。

◆地域の協力を得ながら

計画の段階から地域の方が参画し、拳ノ川ならではの豊かな教育活動・体験活動の創造を目指し①人・自然・環境

②健康・福祉③学び・文化について3つのコミュニティ委員会を組織し、地域の人材活用や教材化を図りながら、年間を通して活動を行っています。

三浦小学校

すこやかな成長を願って

校長 松田 恵美

三浦小学校の学級編成

平成20年度の三浦小学校は、1年(5人)・2年(11人)・3年(7人)・つくし学級(1人)・4年(10人)・5年(6人)・6年(6人)の7学級。全校児童数は男子23人・女子23人の46人です。今年是非常勤講師が月・木曜日に来校し、上級生が家庭・図工・音楽の教科の授業を受けており、子どもたちも毎週とても楽しみにしています。

検査から見たこと

本校では2つの検査から、概ね平均もしくは平均以上の結果が出ました。主な課題は、国語科は読む(物語文・説明文などのいわゆる読解力)・話す・書く領域、算数科では数量関係・量・測定です。

結果や課題から

検査の結果や毎日の学習生活態度、授業実践など、さまざまな取り組みをして解決してきましたが、新たな課題、

継続課題などから『人間尊重を基盤に、自ら学び豊かさたくましさを持つ子どもの育成』の教育目標から、よく学びよく遊ぶ三浦っ子をゴールイメージとして児童像を

①進んで学習に取り組む子②最後まで頑張る子③明るく元気な子に新たに④仲よく助け合う子の項を付け加え、居場所づくりの学級集団・リーダー力が発揮できる縦割り集団を基盤に、さらに密度の高い

学習集団づくりをつくることにしました。

具体的な取り組み

落ち着いた規律ある生活や学びのある学校をつくるために、まず「学びの姿勢」と「生活習慣」づくりを全校で取り組みました。

- 1、学びの姿勢と生活習慣・学習する(学びの姿勢)
 - ①よい姿勢で話を聞こう
 - ②自分の考えを大きな声で話そう
 - ③チャイムを守ろう
 - ④朝読書で静かに本を読もう
 - ⑤基礎タイムにしっかりと取り組もう
 - ⑥下敷きを使おう
 - ⑦定規で線を引こう
 - ⑧鉛筆を正しく持とう
 - ⑨丁寧な字や数字を書こう
 - ⑩お家の勉強をがんばろう
- 2、生活を整える(生活習慣)
 - ①元気なあいさつや返事をしよう
 - ②ことばづかいに気をつけよう
 - ③机の中やロッカーの整頓をしよう
 - ④使ったものの片づけをしよう
 - ⑤掃除をまじめにしよう

- ⑥係の仕事を頑張ろう
- ⑦はみがきをしっかりとしよう
- ⑧友だちと仲良く遊ぼう
- ⑨忘れ物をなくそう
- 当初4～5月の予定でしたが、学習の基を作る為に1学期間実施しました。達成度を分析しながら、次週に生かし、生活や学習環境を整えてきました。
- 生活調べも並行して実施し、担任と養護教諭が連携し生活を直しています。
- 児童会活動や学校生活から生まれ出る事柄や課題などに全職員で取り組んでいます。

- 3、学力の定着と向上

研究テーマに「読解力」を明記し、意識づけています。

 - ①授業研究を主に、自分たちの力を高める研究をする。
 - 基礎基本の定着のために
 - 基礎タイムの時間
 - 月・火・木・金曜日
 - の掃除
 - 後10分間、全員、計算漢字の習熟練習
 - がんばりっ子の時間
 - 下級生は週1時間・上級生は週1～2時間、各学年の課題克服の時間
 - 朝読書の時間

火・水・木曜日、学年必読図書も選定

- 家庭学習(自学)の定着など
 - ③社会・自然・文化体験の充実
 - ④読書力診断テストの実施
- 読解力の状況を見るために実施しました。内容は読字力・語い力・文法力・言語に関する知識領域と読解・観賞力です。この検査で総合的な読書力を客観的に測定ができます。読書力は、国語科の重要な教育目標の一部であり、他の科学学習や研究の基礎技能の重要な部分でもあります。全ての教科領域で読解力の指導を有効に行う指針となるので検査結果をもとに2学期から取り組み予定です。
- おわりに**
- 子どもは未来です。明るく優しくいきいきとした未来を願う私たちは子どもたちにそれを教えていかなければならないと思います。生きる力を持ち、健やかに子どもたちが成長するには何が必要かを考え、知(利発な賢さ)心(優しさ)体(逞しさ)を豊かに確かにする方法を大人たちで共に考えながら寄り添っていききたいと思います。

標準検査結果

		2年	3年	4年	5年
国語	期待点	81.2	77.4	73.2	71.0
	校内点	80.6	84.7	76.4	78.7
算数	期待点	84.7	78.0	74.9	74.6
	校内点	91.5	84.3	76.0	91.4

平成20年4月実施

到達度把握検査結果

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	全国	79	75	73	76	75	79
	校内	77	67	69	84	83	81
算数	全国	88	81	79	78	72	72
	校内	92	82	78	86	79	61

平成20年1月実施